



保健師 成田妃佐美です。

元気にな〜れ

270

南檜山地域SOSネットワーク

暑さも和らぎ、幾分過ごしやすくなった頃でしょうか。さて、今回の表題「認知症の人と家族を支える南檜山地域SOSネットワーク」ってご存じですか。きっと、知らない方のほうが多いと思いますが、知っておくといざという時、役に立ちます。ぜひ頭の片隅に。

★SOSネットワークってなに？

自分がどこにいるのかわからなくなり行方不明となった認知症の方などを、地域の関連団体等※1が捜索に協力して早期発見・保護するとともに、保護された方に必要なアフターケアを行うシステムです。

簡単にいいますと、「行方がわからなくなった方をみんなで探し、見つかった後も同じようなことがないようにみんなで作戦会議を行う」といった感じでしょうか。

【※1 地域の関連団体等とは】

警察署はもちろんのこと、消防署や医療機関、バス会社やタクシー会社、郵便局など多くの関連団体がネットワークに協力しています。

★SOSネットワークシステムの利用方法

まずは「素早く」警察に一報をお願いします。(時間が経過するほど、捜索範囲も広くなり見つけるのに時間を要します)

一報の際に、次のことをまとめておくとういでしょう。また、普段からいざという時のために準備しておいてください。

★ご家族の方へのお願い

【警察への連絡の時に】

- ・行方がわからなくなった方の特徴をまとめておきましょう。
外見（身長、体重、体格、髪型など）、服装、認知の状況（名前や住所が言えるかなど）
- ・本人の写真があると探すときの手がかりとなります。

認知症の方などの行方がわからなくなった



② 家族などが電話で連絡

※連絡する際には特徴や状態などがわかるように
※見つかった場合も、なるべく早く連絡してください。

江差警察署 生活安全課 Tel 0139-52-0110

③ 捜索 連絡

関係機関
消防署
交通機関
役場（地域包括支援センター）
江差保健所など

④ 発見

家族の了解を得て
相談窓口で連絡

コーディネートチーム
各町役場
（各町地域包括支援センター）
医療機関
江差保健所など

「認知症になっても住み慣れた地域で家族と生活できる」そんな環境ができればいいですね。みなさん一人ひとりの「あれっ？」が早期発見につながり大切な命を救うことになるかもしれません。認知症に限らず、自殺や虐待といった予防にもつながります。「あれっ？」と思ったらご一報をお待ちしております。

